開校50周年　校訓：明るく・仲よく・たくましく　「あ・な・た」を大切にする心のふるさとパリ日　depuis 1973

日仏文化学院

パリ日本人学校

令和5年度学校だより　第13号　令和6年1月9日発行　　パリ日本人学校　校長　伊藤　博

3学期のスタート！　～始業式　校長の言葉から～

★令和6年能登半島地震で被災された方々に心からお見舞いを申し上げます★

日本では、元日の夕方に石川県能登半島を中心とする震度7の大きな地震が発生し、多数の死者と安否不明者が出ています。また、2日の夕方には、羽田空港において航空機の接触炎上事故が起き、死者負傷者も出て、航空機の発着にいまだに支障が出ています。【全員による黙とう】

2024年（令和6年）はたいへんな幕開けとなりましたが、「災い転じて福となす」の言葉どおり、今年が良い年になるようお祈りしたいと思います。

今年の干支（えと）は「甲辰(きのえたつ)」です。「甲」は、十干の一番目の文字で、物事の「はじまり」を象徴し、「辰」は万物が成長して動きが盛んになる象徴とされています。つまり、今年は「物事のはじまり」と「大きな成長」の年と言えるようです。皆さんの中で「何かを始めよう。大きく成長しよう。」という志を持っている人がいたら、まさに最適な年と言えるでしょう。

さて、「一年の計は元旦にあり」ということわざをご存じですか。本来は「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」というそうです。「一日の計画は早朝のうちに立て、一年の計画は元旦に立てるべき」という意味で、「物事は、最初が肝心である」というたとえを表しています。みなさんの中には元旦にこの一年の計画や目標を立てた人もいるかもしれません。まだの人は、ぜひ3学期が始まった早い段階で立ててみましょう。2学期の終業式に、大谷選手の目標設定の話をしましたが、ぜひそれも参考にしてみてください。これまで何度も語ってきましたが、何かをしようと志を立てる「立志」があって、それに向かってとことん「挑戦」することから「感動」が得られます。「立志・挑戦・感動」この言葉も胸に刻んでください。

ところで、今年はパリオリンピック・パラリンピックが開かれます。昨年はラグビーワールドカップ日本代表や車いすラグビー日本代表選手に声援を送りました。今年は、昨年以上に声援を送る機会が増えると思われます。ぜひ心を込めて声援を送りたいですね。また、フラワーレーンプロジェクトのゴールとして、パリ日のすぐそばにある、オリンピック・パラリンピックの自転車競技会場のベロドロームに、みんなで咲かせた朝顔の鉢を飾り、日本代表だけでなく各国選手へのおもてなしをする予定です。みんなで力を合わせてこのプロジェクトを成功させたいですね。最後に、昔から「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、この3学期はあっという間に時が過ぎていきます。しかも、3学期は次の学期への「0学期」です。4月からの新学年スタートを素晴らしいものにするためにも、一年で最も短い学期の一日一日を大切にしていきましょう。

【写真（右上）埼玉県新座市からの初富士】

始業式 代表の言葉から　※原文は縦書き

三学きにがんばりたいこと 小学部1年 ＳＭ

わたしが三学きにがんばりたいことは、じゅぎょうでいっぱい手をあげることです。

さいしょはほんとうにわたしのおもっているこたえがあっているのかわからないし、まちがってわらわれるのがいやだとおもったので、あまり手をあげられませんでした。でも、校ちょうせんせいのおはなしで、あたらしいいっぽをふみだすことでじぶんのちからをのばせるというはなしをきいて、わたしが手をあげてはっぴょうするのをがんばることが、あたらしいいっぽをふみだすことになるとおもいました。

だから三学きからは、まちがっていても気にせず、手をあげじぶんのかんがえをつたえられるじぶんになりたいです。わたしもあたらしいいっぽを2024ねんにふみだすためにがんばるので、みなさんもいっぽふみだすなにかをさがして、ちゃれんじしてみてはどうですか？

頑張ること頑張ったこと　小学部4年 ＫＫ

私が２学期頑張った事は２つあります。１つ目は漢字です。私は１学期から漢字が苦手な科目でした。なので、毎週漢字小テストで低い点をとってしまっていました。私は２学期漢字小テストの点をあげようと色々な方法を考えて試してみました。そうすると漢字のテストで１00点を取れるようになりました。自分でも成長できたと思います。

２つ目は諦めないことです。私は４年生になって先生から諦めの悪さを学びました。私は算数が苦手で、テストでいつも１00点を取れず悔しい思いをしていました。でも先生は私の練習方法をいつも褒めてくれました。

諦めないで頑張ってね。この言葉が私に火をつけてくれました。また友達に工夫して教えるようになり、自分の理解がより深まりました。そのおかげでテストで１00点を取るようになりました。これからも何事も諦めず取り組みます。

次に３学期の点についてです。めあては２つあります。１つ目は学年の人と仲良くなることです。私は２学期緊張してたくさんの人に話しかけることができませんでした。なので、これからは自分から声をかけてたくさんの人と友達になりたいと思います。皆さん気軽に私に声をかけてくださいね。

二つ目は思い切り楽しむことです。私は、今年でパリ日とお別れすることになりました。あと、3かげつほどしかありません。思いっきり楽しんで、最高の思い出を作ろうと思います。

かっこいい先輩になるために　中学部2年 ＩＹ

僕は去年の四月にパリ日に転校してきました。来る前は、行きたくないとずっと思っていました。クラスが僕以外、全員女子で、担任の先生まで女性の先生でした。さらに僕の親が、英語の先生で、正直やっていけるかなと不安でした。でもクラスの女子はとても優しくて、三年生の先輩や一年生のおかげで意外と楽しく過ごせました。今は、なんと男子が四人になりました。時々友達に「親が英語の先生なのは嫌じゃないの」と聞かれることがありますが、もう慣れてしまいました。また運動会などの楽しい行事があり、そんな不安は少しずつ消えていきました。

二学期は僕の中で一学期よりも楽しいと思えることがたくさんありました。その中でもパリ日祭はとても印象

に残っています。パリ日祭の劇の練習などで関わったことのない人とも関わることもできました。とても楽しかったですが、そこで僕のこれからの課題も見えました。

それは人に頼ってばかりということです。劇の練習は三年生や実行委員が中心で、合唱ではパートリーダーが中心でやっていました。僕はそれについていくことしかできませんでした。自分から行動することができませんでした。学校生活でも人に頼ってばかりです。三学期が終わったら僕も三年生になります。このままでは、今の三年生のようなあこがれられる先輩にはなれないと思います。

三学期の僕は、自分から積極的に行動していきます。まずは、二月にある現地校交流でみんなを引っ張れるように頑張ります。そして三年生になったらみんなからあこがれられるようなかっこいい先輩になります。

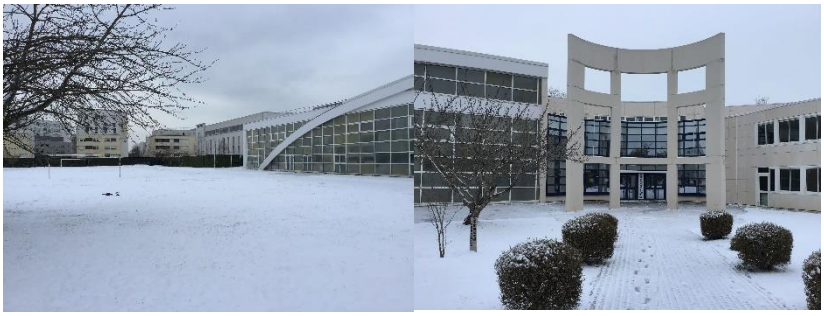
新春恒例 “書き初め会”実施

８日の3、4校時に新年恒例の書き初め会が行われました。小学部１・2年生は教室で硬筆に、小学部3年生以上は体育館で毛筆にチャレンジしました。

開会式で校長から書き初めについてのお話をしました。書き初めは今から約１000年以上前の平安時代から始まり、全国的に広まったのが江戸時代であること。本来１月２日に、「若水（わかみず）」という新年になって最初に汲んだ水で墨をすって書いていたこと。その年にがんばりたいことや夢や希望などを書いていたこと。地方によっては、「恵方（えほう）」という縁起の良い方角を向いて書いていたことなどです。

低学年教室、体育館とも、たいへん真剣な表情で取り組む姿が見られました。同じ会場で一斉に書き初めをする姿は新年にふさわしいパリ日の伝統行事となっています。なお、作品は今後各学年の廊下等に掲示されます。ご来校の際にぜひご覧ください。

１月９日（火） 降雪による臨時休校



８日の始業式は寒い中で行われ、書き初め会を行う頃になると灰色の空から雪が舞い始め、グランドの土の部分や中庭の日本庭園などうっすらと雪化粧しました。夜の間に雪はさらに積もり１月９日（火）は臨時休校となりました。日本でもこの時期は「寒の入り（かんのいり）」といって、節分を迎えるまでの間一年で最も寒い時期となります。バスが運行できない場合、パリ日は臨時休校となります。「犬は喜び庭かけまわる」雪ですが、休校はこの一日で終わりにしたいものです。